

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年4月7日(2011.4.7)

【公表番号】特表2010-517705(P2010-517705A)

【公表日】平成22年5月27日(2010.5.27)

【年通号数】公開・登録公報2010-021

【出願番号】特願2009-549294(P2009-549294)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/84 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 29/00

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月14日(2011.2.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1つの管腔を有するカテーテルと、

近位端および遠位端を有する主要管腔、ならびに該主要管腔に接続され、該主要管腔から側方に延在する少なくとも1つの側枝管腔を備えるステントであって、該カテーテルの遠位端は該側枝管腔内に配置される、ステントと、

該少なくとも1つのカテーテル管腔を通って延在し、該側枝管腔の遠位端に解放可能に取り付けられるストリングであって、該ストリングを該側枝管腔から解放する前に、近位端における該カテーテルの選択的運動が、該遠位端における対応する回転運動をもたらし、該カテーテル遠位端は操作可能であり、該選択的運動は回転であり、該回転運動は横方向である、ストリングと

を備える、ステント装填カテーテルアセンブリ。

【請求項2】

前記ストリングを選択的に引張って、前記側枝管腔のプロファイルを選択的に増加および選択的に減少させるための機構をさらに備える、請求項1に記載のステント装填カテーテルアセンブリ。

【請求項3】

前記ストリングの末端はそれぞれ、前記カテーテル内の別個の管腔を通って延在し、中心部分は、前記少なくとも1つの側枝管腔の遠位端の尖端を通って織り込まれる、請求項1に記載のステント装填カテーテルアセンブリ。

【請求項4】

少なくとも1つの管腔を有するカテーテルと、

近位端および遠位端を有する主要管腔、ならびに該主要管腔に連続し、該主要管腔から側方に延在する少なくとも1つの側枝管腔を備えるステントであって、該側枝管腔は、該主要管腔に対して角度配向を調節可能であり、該カテーテル管腔は、減少プロファイルの該ステントを受容するために適合されている、ステントと、

該主要管腔の遠位端の尖端を係合するピンアセンブリであって、該ピンアセンブリはばね荷重が掛けられ、該ばね荷重の解放時に、該ピンアセンブリは該尖端を解放する、ピンアセンブリと

を備える、ステント装填カテーテルアセンブリ。

【請求項 5】

遠位端および近位端、ならびにそれらの間の構造を有するステントを送達および展開するシステムであって、該構造は、該構造の長さに沿って減少可能である初期プロファイルを有し、該システムは、

該初期プロファイルの該ステントの直徑よりも小さい内径を有するカテーテルであって、減少プロファイルの該ステントを受容するように適合されている、カテーテルと、

流体を受容するポート、および該ポートから該流体の漏出を防ぐための該ポートの遠位かつ該カテーテルの本体内に少なくとも1つのガスケットを備える、該カテーテルの本体内に延在する管腔であって、該カテーテルの少なくとも一部分はそこを通る該流体の通過によって洗浄される、管腔と

を備える、システム。

【請求項 6】

カテーテルの血管内送達に適合されたシースであって、

該シースの壁内に埋め込まれ、該シースの長さに沿って延在する編組材料であって、該壁内に埋め込まれた該編組材料は、該シースにねじれ耐性および高いトルク能力を提供する、編組材料と、

該編組材料内の少なくとも1つのはんだ接合と
を備える、シース。

【請求項 7】

前記編組材料の長さに沿って間隔が空いている、複数のはんだ接合を備える、請求項6に記載のシース。

【請求項 8】

少なくとも1つの管腔および少なくとも1つの放射線不透過性マーキングを有するカテーテルシースと、

近位端および遠位端を有する主要管腔、ならびに該主要管腔に接続され、該主要管腔から側方に延在する少なくとも1つの側枝管腔とを備えるステントデバイスであって、該カテーテル管腔は、減少プロファイルの該ステントデバイスを受容するように適合されている、ステントデバイスと

を備え、該ステントデバイスは、少なくとも1つの選択的に配置される放射線不透過性マーキングをさらに有し、該ステントデバイス上の該放射線不透過性マーキングを該カテーテルシース上の該放射線不透過性マーキングと整列させることは、該カテーテルシース内での該ステントデバイスの適切な装填を確認し、そして

該カテーテルシースは、その長さに沿って延在し、かつ、互いから180°離れている2つの放射線不透過性マーキングを有し、該ステントデバイスは、その長さに沿って延在し、かつ、互いから180°離れている2つの放射線不透過性マーキングを有する、
ステント装填カテーテルアセンブリ。

【請求項 9】

前記ステントデバイスは、ステントと該ステントに係合されるグラフトとを備え、該ステントデバイス上の前記少なくとも1つの放射線不透過性マーキングは該グラフト上にある、請求項8に記載のステント装填カテーテルアセンブリ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明は、植込型デバイス、および体内で植込型デバイスを展開するためのシステムを提供する。

本発明は、例えば、以下を提供する：

(項目1)

少なくとも 1 つの管腔を有するカテーテルと、

近位端および遠位端を有する主要管腔、ならびに該主要管腔に接続され、該主要管腔から側方に延在する少なくとも 1 つの側枝管腔を備えるステントであって、該カテーテルの遠位端は該側枝管腔内に配置される、ステントと、

該少なくとも 1 つのカテーテル管腔を通って延在し、該側枝管腔の遠位端に解放可能に取り付けられるストリングであって、該ストリングを該側枝管腔から解放する前に、近位端における該カテーテルの選択的運動が、該遠位端における対応する回転運動をもたらし、該カテーテル遠位端は操作可能である、ストリングと
を備える、ステント装填カテーテルアセンブリ。

(項目 2)

上記選択的運動は軸方向並進であり、上記回転運動は前進と後退である、項目 1 に記載のステント装填カテーテルアセンブリ。

(項目 3)

上記選択的運動は回転であり、上記回転運動は横方向である、項目 1 に記載のステント装填カテーテルアセンブリ。

(項目 4)

上記ストリングを選択的に伸長させて、上記側枝管腔のプロファイルを選択的に増加および選択的に減少させるための機構をさらに備える、項目 2 に記載のステント装填カテーテルアセンブリ。

(項目 5)

上記ストリングの末端はそれぞれ、上記カテーテル内の別個の管腔を通って延在し、中心部分は、上記少なくとも 1 つの側枝管腔の遠位端の尖端を通って織り込まれる、項目 1 に記載のステント装填カテーテルアセンブリ。

(項目 6)

少なくとも 1 つの管腔を有するカテーテルと、

近位端および遠位端を有する主要管腔、ならびに該主要管腔に接続され、該主要管腔から側方に延在する少なくとも 1 つの側枝管腔を備えるステントであって、該カテーテル管腔は、減少プロファイルの該ステントを受容するために適合されている、ステントと、

該主要管腔の遠位端の尖端を係合するピニアセンブリであって、該ピニアセンブリはばね荷重が掛けられ、該ばね荷重の解放時に、該ピニアセンブリは該尖端を解放する、ピニアセンブリと
を備える、ステント装填カテーテルアセンブリ。

(項目 7)

遠位端および近位端、ならびにそれらの間の構造を有するステントを送達および展開するシステムであって、該構造は、該構造の長さに沿って減少可能である初期プロファイルを有し、該システムは、

該初期プロファイルの該ステントの直径よりも小さい内径を有するカテーテルであって、減少プロファイルの該ステントを受容するように適合されている、カテーテルと、

流体を受容するポート、および該ポートから該流体の漏出を防ぐための該ポートの遠位に少なくとも 1 つのガスケットを備える管腔であって、該カテーテルの少なくとも一部分はそこを通る該流体の通過によって洗浄される、管腔と
を備える、システム。

(項目 8)

カテーテルの血管内送達に適合されたシースであって、

該シースの壁内に埋め込まれ、該シースの長さに沿って延在する編組材料と、

該編組材料内の少なくとも 1 つのはんだ接合と

を備える、シース。

(項目 9)

上記編組材料の長さに沿って間隔が空いている、複数のはんだ接合を備える、項目 8 に記載のシース。

(項目10)

少なくとも1つの管腔および少なくとも1つの放射線不透過性マーキングを有するカテーテルシースと、

近位端および遠位端を有する主要管腔、ならびに該主要管腔に接続され、該主要管腔から側方に延在する少なくとも1つの側枝管腔とを備えるステントデバイスであって、該カテーテル管腔は、減少プロファイルの該ステントデバイスを受容するように適合されている、ステントデバイスと

を備え、該ステントデバイスは、少なくとも1つの選択的に配置される放射線不透過性マーキングをさらに有し、該ステントデバイス上の該放射線不透過性マーキングを該カテーテルシース上の該放射線不透過性マーキングと整列させることは、該カテーテルシース内での該ステントデバイスの適切な装填を確認する、ステント装填カテーテルアセンブリ。

(項目11)

上記カテーテルシースは、その長さに沿って延在し、かつ、互いから180°離れている2つの放射線不透過性マーキングを有し、上記ステントデバイスは、その長さに沿って延在し、かつ、互いから180°離れている2つの放射線不透過性マーキングを有する、項目10に記載のステント装填カテーテルアセンブリ。

(項目12)

上記ステントデバイスは、ステントと該ステントに係合されるグラフトとを備え、該ステントデバイス上の上記少なくとも1つの放射線不透過性マーキングは該グラフト上にある、項目10に記載のステント装填カテーテルアセンブリ。